



第24回

初代広重没後150年記念特別展
 初代広重と二代広重の諸国名所絵展
 一 六十余州名所図会と諸国名所百景 一

歌川広重(1797～1858)は、定火消同心30俵2人扶持安藤源右衛門の長男として生まれました。浮世絵は22歳頃に初作の摺物を発表し、文化、文政年間は「女絵師」として活躍しました。しかし天保初年に葛飾北斎が「富嶽三十六景」(大判46枚揃 版元：西村屋与八)を発表し評判になると、広重も後を追うように風景画を描きました。広重の場合「東海道五十三次」が好評となり、以降多くの風景画を描きました。広重の風景画は質と量において他の絵師を圧倒し多くの名品を残しています。初代広重の跡を継いだのが同じ定火消同心の家柄の森田鎮平でした。画号は重宣といい、初代広重の晩年の作画活動をよく手伝いました。

この度の展覧会は初代広重と二代広重が同じテーマに取り組んだ作品です。初代広重は「六十余州名所図会」(大判70枚揃 嘉永6年7月～安政3年9月改印 版元越村屋平助)の大作を制作し、二代歌川広重(1826～69)も同じテーマで「諸国名所百景」(大判85枚(未完) 安政6年4月～文久元年9月 版元魚屋栄吉)を手がけています。

図は、初代広重の「六十余州名所図会 上野 榛名山雪中」です。図中の朱の社殿は榛名神社(群馬県高崎市)で、火産霊神(ほむすびのかみ)と埴山毘売神(はにやまひめのかみ)を祀っています。行者溪谷には朱の神橋が浮かび上がるように架かっています。社殿の後ろには雪で覆われた大木が奇岩のように林立しています。

那珂川町馬頭広重美術館 学芸員 市川信也



初代歌川広重 六十余州名所図会 上野 榛名山雪中

【会期】 前期 9月29日(土)～10月28日(日)
 後期 11月1日(木)～12月2日(日)

【記念講演会】

10月7日(日) 学習院大学講師 藤澤 紫氏
 11月11日(日) 当館学芸員 市川 信也

【ミュージアムトーク(展示解説)】

当館学芸員 午後1時30分～

前期 9月29日(土)、10月13日(土)
 後期 11月3日(祝土)、11月17日(土)

【開館時間】 午前9時30分～午後5時まで
 (ただし入館は午後4時30分まで)

【入館料】 大人 800円(720円)
 高・大学生 500円(450円)
 小・中学生 150円(135円)

※()は20名以上の団体料金
 ※70歳以上、小学生未満は無料

ミニギャラリー
 作品募集!

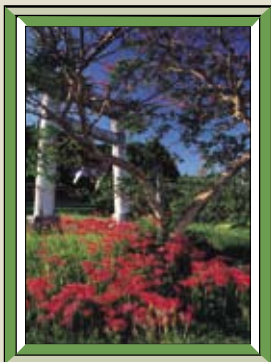
あなたの作品をここに出版してみませんか?

絵画、写真、絵手紙などの作品をお待ちしております。

問い合わせ：企画財政課

☎0287-92-1114

入選 秋初め 小町隆義さん(大田原市)



ばとうの観光写真コンテスト受賞作品

ミニ
 ギャラリー



上河原農地水保全委員会が管理している花壇